

# 予測不能な人生、仕事と私事は挑戦だらけ



## 岡田千里

日東電工(株)研究開発本部分離技術研究センター  
[567-8680] 茨木市下穂積1-1-2  
主任研究員, 博士(工学).  
専門は高分子化学.  
<http://www.nitto.co.jp/>

過去の記事を見て、すごい方々が書いてらっしゃるのに、私なんかを書いて良いのか？人選ミスでは？と思いつつも、こんな人もあるんだなと思っていただければ幸いです。

### 勉強嫌いの実験好き

小学生の頃、理科の教科書に載っている実験を片っ端から試すほど理科が好きでした。卒業文集には「研究者になりたい」と書きましたが、思春期には勉強から遠く遠く離れていました。それでも大学4年の卒業研究で「実験ってやっぱり楽しい」と心から感じ、研究開発職を志しました。しかしながら、大学院進学を決めた矢先、父に癌が見つかり、入試日と手術日が重なって受験を断念しました。諦めきれず、地元近くの奈良先端科学技術大学院大学で研究を続ける道を選び、実験装置に恵まれた実験漬けの2年間は充実した最高の日々でした。

修士取得後、研究開発職として日東電工に入社しました。その2年後に結婚し、6年後に息子が誕生。しかし、息子は自己免疫性疾患を抱え、発熱や入院を繰り返しました。一般的には保育所を辞めるべき病気であり、私自身も仕事を辞めるべきか悩みました。

そんなとき、主治医から「経験も大切な時期だから保育所に通っていい。体調不良のときはすぐに来てね」と背中を押され、仕事を続ける決意をしました。それからは、仕事帰りに毎日かかりつけ医で体調を確認してもらう日々が2年半続きました。入院している病院先から会社に通うこともありました。朝6時に出勤し、15時に帰宅することもありましたが、フレックス勤務や理解ある上司・同僚の支え、家族の協力もあり、仕事と育児を両立できました。今思えば大変な時期でした。

### 社会人ドクターへの道

2020年、私は大気から二酸化炭素を回収する吸着剤の研究に取り組んでいました。京都工芸繊維大学の高崎先生(現・横浜国立大学)に学術指導をお願いし、ナノファイバーの研究を続けていたところ、「社会人ドクターを目指しては」と勧めていただきました。しかし、英語も苦手で、仕事と子育てで手一杯な私は無理だと思いました。

そんな折、人間ドックで乳がん疑いの通知を受けまし

た。再検査を繰り返しても疑いは晴れず、両親を痛で亡くしている私は「人生は思っていたより短いかもしれない」と感じました。幸い最終検査で癌ではないと判断されましたが、この経験で「やりたいことは先延ばしせず挑戦しよう。本当に無理だと思ってから考えればいい」と決意しました。会社にも相談し、苦手な英語試験にもぎりぎり？合格し、社会人ドクターとなりました。入学直後にまさかのナノファイバーテーマがペンディングに。それからは、過去2年間のデータを活かし、出張ベースで大学に通いながら研究を行いました。

### 離婚と国際学会

社会人ドクター入学の4カ月後、私は離婚しました。さらっと書いていますが、本当にさらっとした離婚でした。そんな中、スイスでの国際学会が迫り、両親も他界している私は子どもの預け先がなく途方に暮れていました。そんなとき、高崎先生が「なにかしら方法はあります。考えましょう」と声を掛けてくださいました。女神に見えました。

結局、会社は有休にし、子ども分の出費は否めないものの、親子で参加しました。このとき、息子は小学6年生でした。息子はほかの参加者に「最年少プレゼンターかい？」と声を掛けられご満悦。講演やパーティーにも一緒に参加しました。親子の一生の思い出となり、さらに息子は、活発に英語で議論する姿に感銘を受け、「将来は海外で活躍するエンジニアになる」と語るようになりました。社会人ドクターの挑戦は、私だけでなく息子にも新しい夢をもたらしました。

### 振り返り

今振り返ってみると困難の連続でしたが、そのたびに支えてくれる人がいて、挑戦することで新しい道が開けました。社会人ドクターのきっかけをくれた高崎先生、息子の憧れの姿となり私の論文指導をいただいた鞠谷先生(東京工業大学名誉教授)、研究室に受け入れてくださった中先生(京都工芸繊維大学)、中研の先生方と学生さん、社会人ドクターの先輩渡辺さん(JNC(株))、そして社会人ドクターを応援してくれた会社。私の周りには、挑戦を応援してくれる人がたくさんいました。次は何に挑戦しようか。誰を応援しようか。私の挑戦はまだまだ続きます。応援してほしい人も大募集中です。